

2023年7月18日

各位

株式会社りそな銀行
 株式会社埼玉りそな銀行
 株式会社関西みらい銀行
 株式会社みなの銀行
 りそなアセットマネジメント株式会社

「みらいE-us+プロジェクト」のスタートについて
 ～寄付プロジェクト「みらいE-usプロジェクト」の改定～

りそなグループのりそな銀行（社長 岩永 省一）、埼玉りそな銀行（社長 福岡 聡）、関西みらいフィナンシャルグループ傘下の関西みらい銀行（社長 西山 和宏）、みなの銀行（社長 武市 寿一）は、りそなアセットマネジメント（社長 西山 明宏）、大和アセットマネジメント株式会社（代表取締役社長 小松 幹太）、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社（代表取締役社長 小林 悦子）、第一フロンティア生命保険株式会社（代表取締役社長 明石 衛）と協働して取り組んできた寄付プロジェクト「みらいE-usプロジェクト」を「みらいE-us+プロジェクト」に改定し、本日スタートします。

➤ 社会全体の ESG、SDGs 機運の高まりを受けコンセプトを改定

SX への取り組みが社会全体で加速しており、欧州や米国などの主要な地域、国の ESG 投資の規模※は 2020 年時点で合計 35.3 兆ドルと 2016 年に比べ約 1.5 倍に拡大しています。日本においても 2020 年時点で 2016 年の約 6.1 倍と急速に拡大しています。お客さまの SX を後押しするべく、本プロジェクトにおいても、“産業分野・次世代教育への貢献”から“より良い社会の実現”にコンセプトを改定します。

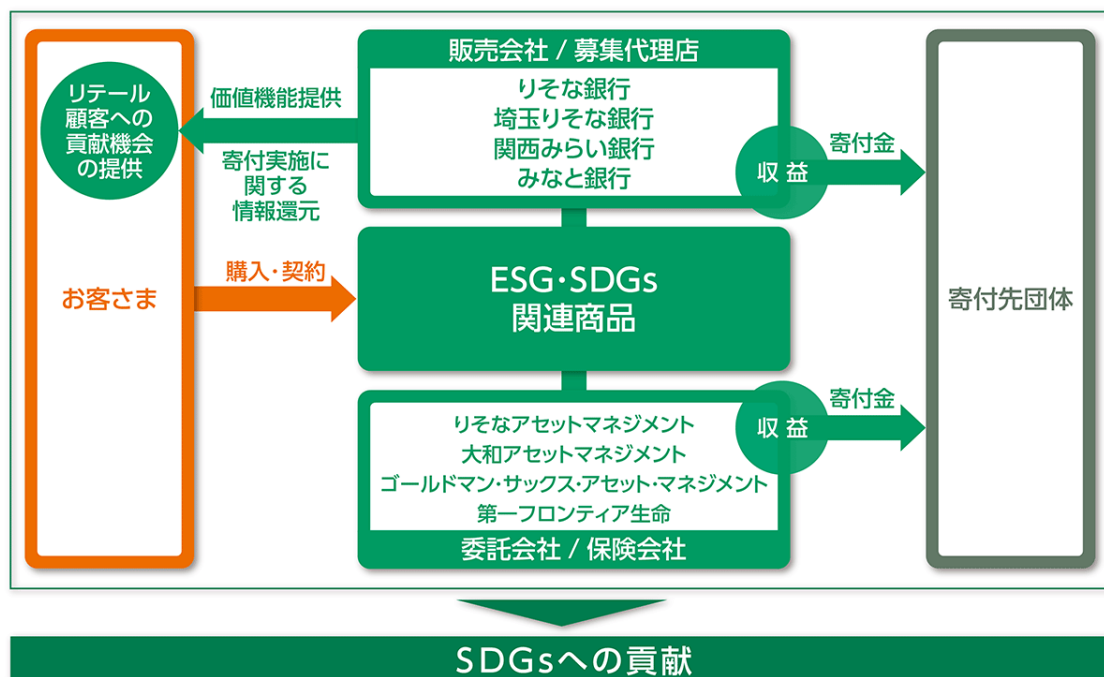
※出所：Global Sustainable Investment Alliance “Global Sustainable Investment Review 2020”

➤ 寄付先に「京都大学 iPS 細胞研究所」と「国立研究開発法人理化学研究所」を追加

コンセプトを改定したことで、寄付先を教育支援団体に絞らずより幅広い分野へ拡大し、りそなグループの教育支援団体以外を追加しました。

【プロジェクト全体像】

りそなグループの販売会社/募集代理店、委託会社、保険会社が ESG・SDGs 関連商品の取り扱いで得る収益の一部を共同で SDGs に関連する取組みを行う団体へ寄付を行い、資産形成を通じて社会課題の解決の一助となることを目指します。これまで、経済的課題を抱えた学生のサポートとして累計 8,827 万円をりそな未来財団、みなの銀行育英会に寄付しています。なお、寄付金控除対象等には該当しません。



【プロジェクト実施概要】

改定前	
プロジェクト名	みらいE-usプロジェクト
コンセプト	・資産運用を通じた関連企業・産業分野の発展への貢献 ・教育支援団体への寄付による次世代教育への貢献
寄付先	公益財団法人りそな未来財団、公益財団法人みなと銀行育英会
寄付対象商品の選定条件	SDGsに関連する投資信託、生命保険

改定後		
プロジェクト名	みらいE-us+プロジェクト	
コンセプト	資産運用および寄付を通じた社会貢献による持続可能なより良い社会の実現	
寄付先	公益財団法人りそな未来財団、公益財団法人みなと銀行育英会、 京都大学 iPS 細胞研究所、国立研究開発法人理化学研究所、その他※	
寄付対象商品の選定条件	ESG、SDGsに関連する投資信託、生命保険	
寄付者	取扱銀行/募集代理店	りそな銀行、埼玉りそな銀行、関西みらい銀行、みなと銀行
	委託会社	りそなアセットマネジメント、大和アセットマネジメント、 ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント
	保険会社	第一フロンティア生命
対象商品	①「ニホンノミライ」（りそなアセットマネジメント） ②「みらい Earth」（大和アセットマネジメント） ③「ecoWIN」（ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント） ④「R246 ESG」（りそなアセットマネジメント） ⑤「ブライトライフ」（大和アセットマネジメント） ⑥「安心道しるべ」（第一フロンティア生命） なお、取扱商品、取扱時期はグループ銀行によって異なります。（詳しくは各社ホームページをご参照ください）	

※寄付先は、社会課題解決に貢献する先を、一定の基準に基づき選定します。

以上

＜本件に関するお問合せ先＞

りそなホールディングス コーポレートコミュニケーション部

（東京本社）TEL:03-6704-1630（大阪本社）TEL:06-6264-5685（埼玉分室）TEL:048-835-1524

関西みらいフィナンシャルグループ 広報室

（関西みらい銀行）TEL：06-6268-7443（みなと銀行）TEL：078-333-3247